

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	特別研究2
科目基礎情報					
科目番号	0005	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	生産システム工学専攻	対象学年	専1		
開設期	後期	週時間数	後期:12		
教科書/教材	各教員の指示による。				
担当教員	Davaa Ganbat,前田 弘文,榎本 浩義,益崎 智成,田房 友典				
到達目標					
【学習到達目標】本科における学習、及び専攻科で得た知識を基礎として、より高いレベルの専門分野の研究を行う。学術講演会（学外発表）・学内発表会などを経験することにより、プレゼンテーション能力を養う。また、論文作成により、専門的な問題に対して、適切に対応できる力を養う。【評価方法】特別研究への取組姿勢や研究の完成度に基づき総合的に評価するが、最終研究発表と研究論文・研究日誌の提出は必須とする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 専門分野の理論習得、周辺分野の知識習得、仕様の策定	自ら行うことができる。	指導の下で行うことができる。	行うことができない。		
評価項目2 実験やシミュレーションによるデータ収集、仕様に基づくものづくり	自ら行うことができる。	指導の下で行うことができる。	行うことができない。		
評価項目3 データの解析と考察、第三者の評価に基づく改良	自ら行うことができる。	指導の下で行うことができる。	行うことができない。		
評価項目4 学術論文形式での記録、プレゼンテーションによる説明	自ら行うことができる。	指導の下で行うことができる。	行うことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E1 専門 E2 専門 E3					
教育方法等					
概要	研究を指導する教員の下で研究活動を行い、研究課題に対するアプローチの方法や実験結果に対する分析・解析法などを学ぶ。また、問題解決の意識・能力を高めるように指導する。【クラス分け方式】				
授業の進め方・方法	各指導教員において適切に研究テーマの選定（特例認定を受けている研究テーマ）を行い、研究活動に取り組む。				
注意点	研究活動の遂行により、学外の学術講演会で発表できる研究成果を得ることが望ましく、また、発表することを期待する。研究室の後輩などの指導も積極的に行うよう心掛けること。 【評価方法】 以下の4つの書類をすべて提出し、専攻科特別研究中間発表会に参加した上で、審査教員による発表に対する総合評定平均値が60%以上（3点以上）である場合に合格とする。 ①特別研究指導計画書 ②特別研究指導報告書 ③研究日誌 ・研究時間が180時間以上であること。 ・研究時間に自宅で行った研究時間を含めることはできない。 ・研究日誌においても自宅で行った分（内容・時間）を書かないこと。 ④専攻科特別研究中間発表会 発表評価・質疑に関する報告書				
実務経験のある教員による授業科目					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	適切な研究テーマ（特例認定研究のテーマ）を選定し、研究を進める	研究の進捗・進展に合わせた「目標設定」、「目標到達」を考える	
		2週	以降、同じように進める	以降、同じように進める	
		3週	特別研究		
		4週	特別研究		
		5週	特別研究		
		6週	特別研究		
		7週	特別研究		
	4thQ	8週	特別研究		
		9週	特別研究		
		10週	特別研究		
		11週	特別研究		
		12週	特別研究		
		13週	特別研究		
		14週	特別研究		
		15週	特別研究		
16週	最終研究発表				

評価割合		
	その他	合計
総合評価割合	100	100
その他	100	100